

平成21年度の厚生労働省の科学技術研究の推進の基本的考え方

平成21年度概算要求
 科学技術関係予算
 1,740億円 (1,364億円・+28%)
 うち厚生労働科学研究費補助金
 559億円 (428億円・+31%)

- (1) 生活習慣病対策、免疫・アレルギー疾患の克服、難病のQOL向上、腎疾患対策の推進 141億円 (66億円)
- (2) エイズ、肝炎及び新型インフルエンザ等感染症対策の充実 75億円 (60億円)
- (3) がん予防・診断・治療法の開発 66億円 (65億円)
- (4) 介護予防の推進や総合的な認知症対策の実施及び障害のQOL向上等 21億円 (18億円)
- (5) こころの健康の促進 18億円 (19億円)
- (6) 地球規模の保健課題の解決 6億円 (新規)
- (7) 子どもの健全な成長・発達及び女性の健康向上に関する研究開発の推進 5億円 (5億円)

健康安心の推進 (健康寿命の延伸)

安全・安心で
 質の高い健康
 生活を実現

先端医療の実現

- (1) 先端医療実現のための基盤技術の開発 85億円 (83億円)

- (2) 臨床研究(治験)基盤の整備の推進 81億円 (50億円)

健康安全の確保

- (1) 医療等の安全の確保 29億円 (30億円)
- (2) 食の安全の確保 17億円 (18億円)
- (3) 健康危機管理対策の充実 5億円 (5億円)

基本計画に
 基づき施策
 を推進

第3期科学技術基本計画 分野別推進戦略

■戦略重点科学技術

「臨床研究・臨床への橋渡し研究」
 「標的治療等の革新的がん医療技術」
 「新興・再興感染症克服科学技術」 など

■研究開発の推進方策

「臨床研究推進のための体制整備」
 「安全の確保のためのライフサイエンスの推進」 など

厚生労働省が主体的に取り組むべき分野の研究
 及び体制整備の一層の充実を図る。

理念の実現、
 戦略の推進、
 貢献

金額は平成21年度概算要求額
 ()は平成20年度予算額